

開校宣言に思いをよせて

およそ百年の昔 一面の松林の地に小屋を建て開墾の鉄をうち下ろした開拓者より始まったこの地の歴史的事実に思いをいたす時 うたたか今昔の感にたえません。

これは、校長室に掲げてある開校宣言の一説です。この開校宣言には、開校当時の思いや現在の私たちへのメッセージが綴られているのです。

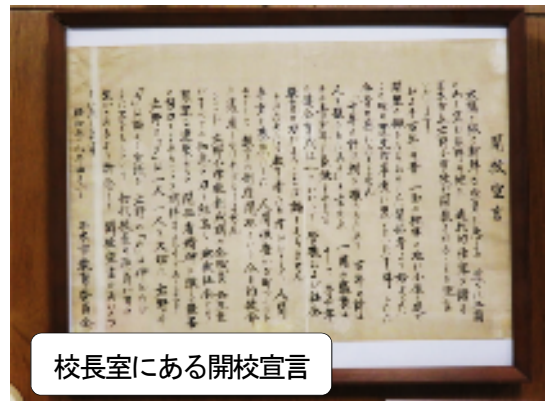
「十年の計は樹を植うるにあり 百年の計は人の植うるにある」と言われ 一国の盛衰はその青少年に象徴されますそして青少年の健全育成は一にかかって 学校および社会教育の力にまつことは論をまらません

と、教育の大切さを訴えています。そして、広野の教師の使命も教育者たるものはひとしく 人間尊重を基底にした人間性豊かな町づくりをめざして 教育の創造開墾という今日的使命に邁進しなければなりません。

広野の職員・児童への期待することも、

ここに 広野小学校創生期の全職員 全児童がすべての知恵と力を結集し 地域社会との緊密な連携のもと 開拓者精神に徹して最善の努力をされることを期待するものであります

この開校宣言は、昭和56年4月1日付けで三木市教育委員会から出されたものですが、今も忘れてはならないものだと思えます。



校長室にある開校宣言



創立40周年記念広野っ子ウォークラリー

創立40周年記念事業

開校宣言が出されて以来、今年には40年という節目を迎えました。創立40周年をコロナのために盛大にお祝いすることはできませんが、今年も全校生で雌岡山に登りました。開校以来たくましい子を育成しようとして実施されていた「鍛錬遠足」をウォークラリーという形で復活させ、開校当時の息吹を感じる機会とし、大いに広野っ子の絆を強める機会となりました。また、この40年間子どもたちを出迎えていた児童玄関も老朽化が進んでいました。床・壁を塗り替え、くつ箱も新調しリニューアルしました。

そして、移り変わる広野の町を記憶にとどめるために、航空写真を撮り、クリアファイルにして配布しました。

♪歴史に残る開拓魂 受けて続かん 手を取りあって♪
と校歌によって歌いつながられてきた「開拓魂」、広野小学校に脈々と受け継がれ、本校を支え創っていきました。そして、変わりゆく時代の中にあっても、この「開拓魂」こそ 未来を切り開いていくために必要不変のものではないでしょうか。職員一丸となって、開校以来変わらぬ学校教育目標「こころ豊かに たくましく生きる広野っ子の育成」に邁進し、未来へとつないで参ります。どうぞ、これからもご支援ご協力よろしくお願ひします。

校長 古谷 昭 文



リニューアルした児童玄関